

11区が総合優勝!

ふるさとオリンピック'10

「ふるさとオリンピック2010」壮年ソフトバレーボール大会が12月5日、長島小学校体育館で開催されました。8行政区から10チーム約100人が参加。同大会は、毎年夫婦での参加が多く、会場内は親を応援する子どもたちの声援が飛び交うなど、にぎやかな大会となりました。優勝はトーナメント形式で進んだのは若さの11区チームと総合力の10区Bチーム。お互い一步も譲らないレベルの高い争いを繰り広げました。結果は、絶妙なチームワークが勝因となり、セットカウント2-0で11区チームが優勝しました。本年度のオリンピック競技は、全日程を終えました。年間総合成績は、11区が450点で3年ぶりの優勝を果たしました。最終種目を終えるまで11区と10区が競り合うという、最後までどこが優勝するか分からない展開でした。

ふるさとオリンピック'10総合成績

▷ 優勝=11区 (総得点450点)

参加種目...全種目
 優勝2種目(町民駅伝、壮年ソフトバレー)
 準優勝1種目(ソフトテニス)

▷ 準優勝=10区 (総得点405点)

参加種目...全種目
 優勝1種目(フットサル)
 準優勝2種目(町民駅伝、壮年ソフトバレー)

▷ 第3位=13区 (総得点325点)

参加種目...全種目
 優勝1種目(ソフトテニス)
 準優勝1種目(バドミントン)

順位	行政区	点数	順位	行政区	点数
4位	12区	245点	8位	7区	140点
5位	16区	220点	9位	1区	100点
6位	15区	200点	9位	2区	100点
7位	6区	185点	上位10行政区		



熱戦が繰り広げられた壮年ソフトバレーボール大会

各行政区とも子どもから大人まで、皆一生懸命にプレイした姿が印象的でした。総合成績表彰は2月に「生涯学習市民のつどい」で行われます。

◎壮年ソフトバレーボール大会

【準決勝】
 11区 2-0 2区
 10区B 2-1 1区B
 【決勝】
 11区 2-0 10区B
 数字はセットカウント
 【成績】
 優勝 11区 準優勝 10区
 第3位 1区B、2区

目指せ!!全国大会

「ロープジャンプ」東北地区予選大会に向け猛練習
 「町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会(仮称)」では、第2回パナソニックキッズスクールCUP「ロープジャンプ小学生大なわとび 1決定戦」東北地区予選大会に向け練習に励んでいます。
 ロープジャンプとは、10本のロープを使用し10人以上で跳び「跳び役」と「跳んだ回数」を掛けた「基本ポイント」と「入れ替わりポイント」の合計得点で競い合う競技です。



大会に向け練習に励む子どもたち

長島体育館利用再開のお知らせ

長島体育館の床修繕工事が完了し、12月22日から利用を再開しました。床ワックスや競技コートラインの塗り直しを行いましたので、皆さまのご利用をお待ちしております。
 なお施設を利用する際は、戸締まりや後片付けなどルールを正しく守り、みんなで気持ちよく使えるようにしましょう。
 【競技コートライン】
 バスケットボール 1面(新規格対応済) バレーボール 1面(新規格対応済) サブ2面 バドミントン 3面 ソフトテニス 1面

長島小学校

夢のハーモニー
 親子ふれあいコンサート
 「親子、卒業生、地域の人々が一つになって奏でた夢のハーモニー」それは11月7日に「長島小親子ふれあいコンサート」として実現しました。
 長島小学校創立以来合奏団活動が続けられてきていますが、卒業生の中には現在でも音楽活動をしている人もいます。また、合奏団経験者の親も多くなって子どもに指導する姿もみられ

るようになってきたこの時期に、親子、卒業生が一堂に会してコンサートを開催し、親子のふれあい、地域住民のふれあいを一層深めようと企画しました。



世代を超えて奏でた夢のハーモニー

演奏、そして岩淵重紀さん(OBでプロのトランペット奏者)の演奏、最後は全員で「ラウンド・オブ・メイク・ピリッパ」の演奏をしました。
 豊かなハーモニーが会場いっぱいに響き、大勢の観客の皆さんとともに感動のステージの幕を閉じることができました。

平泉小学校

「もち花かざり」感謝の気持ちを込めて
 12月17日に全校児童が、父母や祖父母、地域の方々とともに「もち花かざり」の行事を行いました。
 もちつきやミズキの飾り付けが始まると、会場は掛け声や歓声でにぎやかになりました。5年生は、もち屋台コーナーに、あんこ、きなこ、納豆、磯辺の4種類の餅を準備し、食券と引き換えに全校児童に配りました。お昼には、お招きしたス

クールガードさんや学校支援ボランティアさん、お手伝いをしてくださった父母、祖父母の皆さんと一緒に、つきたてのもちを味わいました。
 地域の方々には、田植えや稲刈りの指導、稲の管理や田んぼの提供、もちつきのきねと臼の調達、ミズキやかなこの準備など、ご支援を頂きました。もちのつき手とあいどりは、おじいちゃんやおばあちゃんのご協力がなければ、なんともなりません。調理室では、お母さん方が約450人分のもち切りにパワーを全開してくださいました。あらゆる場面で大くさんの方々に温かく支えていただけて成功した「もち花かざり」。感謝の気持ちでいっぱい



掛け声を掛けてにぎやかに餅つき

部をきずなを深めるため力走
 第9回部対抗駅伝大会が12月1日に開催され、部の誇りをかけて熱い戦いが繰り広げられました。師走とは思えない暖かい日差しの中、午後3時に男女19チームが一斉にスタート。1周2.7キロのコースを1人1周し、4人のランナーがタスキをつないで競いました。「走る」ことが体力作りの基本」という考えと、部のきずなを深めようというねらいで始まった駅伝大会。レースは首位が目まぐるしく変わるデットヒート。男子は野球部(千葉郁哉・阿部快星・伊藤祐太・千葉農斗)が、女子はバスケットボール部(佐々木明日華・岩淵蓮華・石山喜菜・佐藤彩華)が優勝のゴールテープを切りました。

平泉中学校

部の誇りをかけて力走!

着を着ての力走。柔道部のアンカーがゴール付近に姿を見せると、自然に他の部の選手も含めて「サライ」を大合唱するという微笑ましい光景もみられました。
 今回は、校舎建築のためこれまでとはコースを変更しての大会になり、今回の記録が大会記録となりました。

区間賞は男子が千葉農斗さん(9分42秒)女子が佐藤彩華さん(11分26秒)でした。
 なお、この大会で個人上位に入った選手を中心に1月10日の新春大船渡駅伝大会に参加します。



部のきずなを深めるため力走